

岩手県こどもモニター

令和8年度アンケート

（第1回）報告書

いわてけん せいさくきかくぶ こうちょうこうほうか
岩手県 政策企画部 広聴広報課

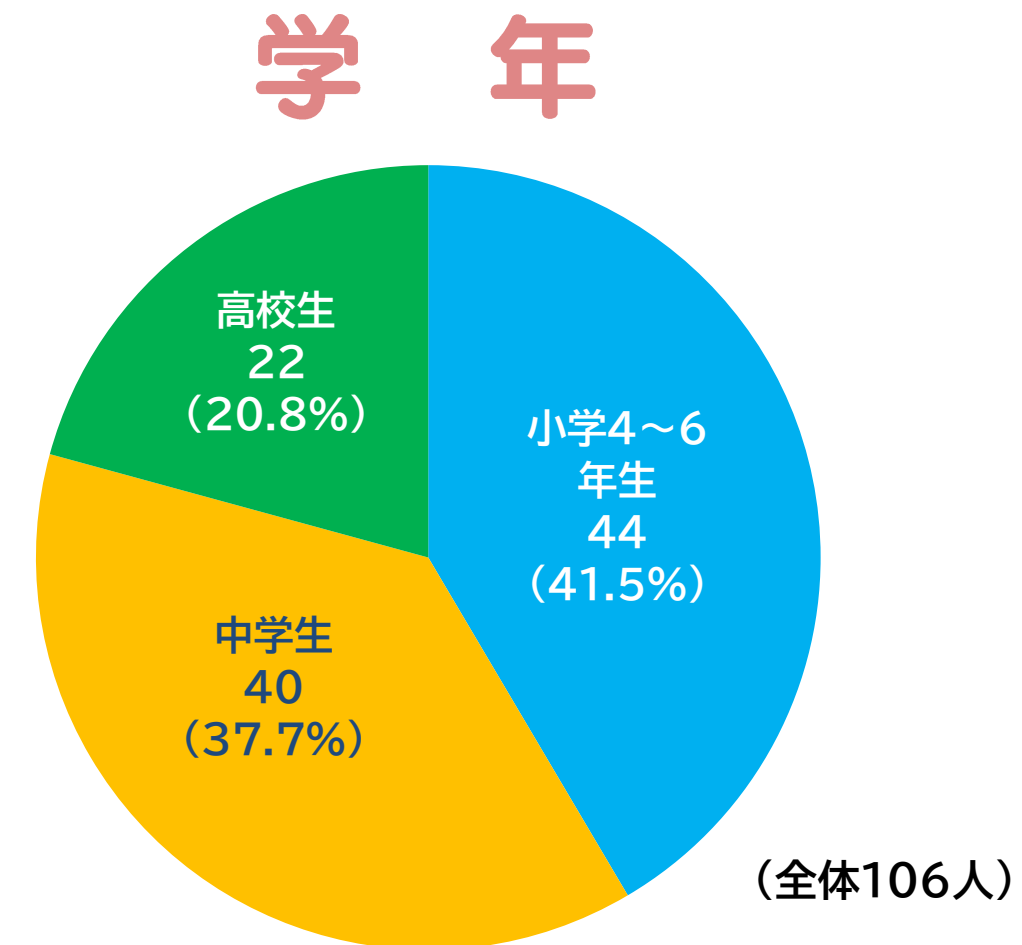
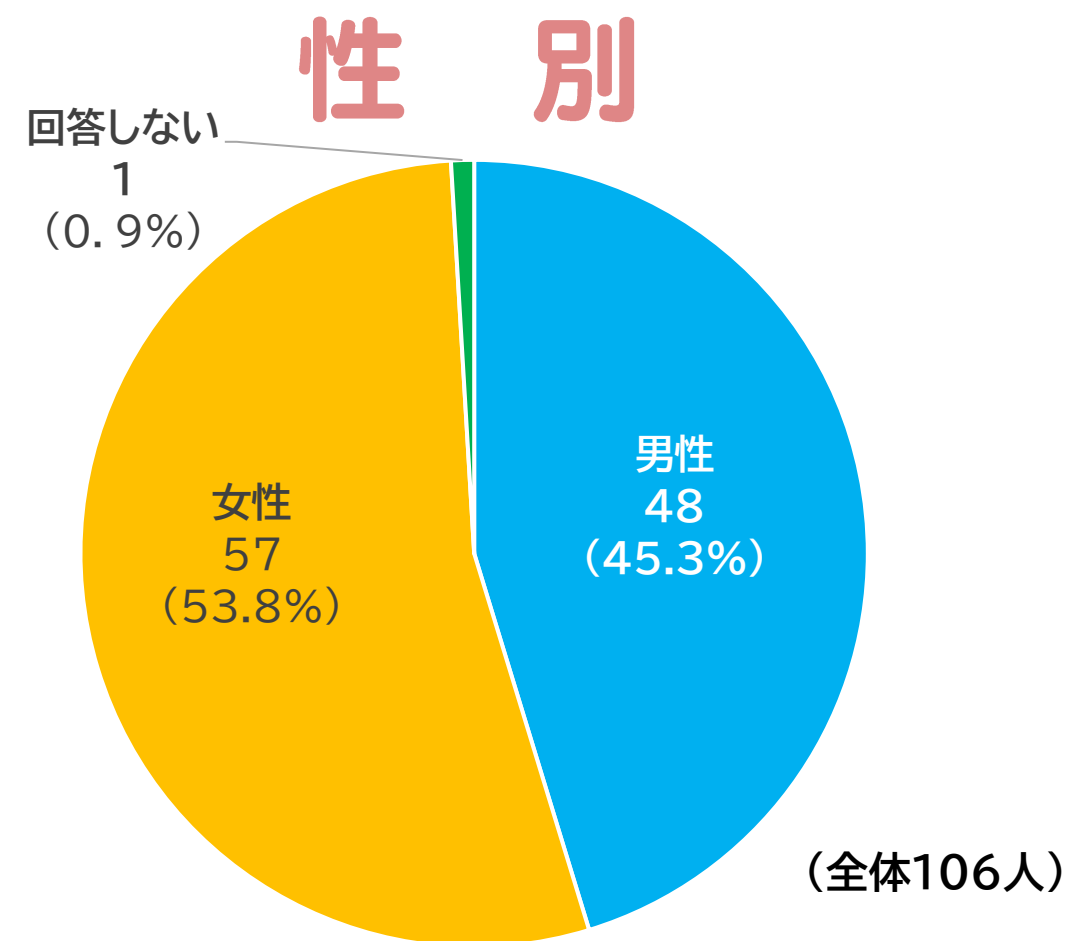


1 アンケートの概要

アンケート期間	令和8年7月6日～7月26日
回答した人数	106人
答えてくれた人の割合	88.3% (106人／120人)
アンケート方法	インターネットによるモニター ^{ちょうさ} 調査
テーマ	1 岩手^{せいかつ}で生活して感じることにについて 2 岩手県庁舎^{ちょうしゃ}の再整備^{さいせいび}について 3 こどものトラウマ（心の傷^{きず}）への支援^{し えん}充実^{じゅうじつ}に向けた取り組みについて 4 建設^{けんせつ}のしごとについて



2 回答者について



	男性	女性	回答しない	計
小学4～6年生	23人	21人	0人	44人
中学生	17人	22人	1人	40人
高校生	8人	14人	0人	22人
計	48人	57人	1人	106人



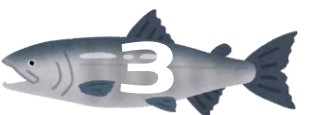
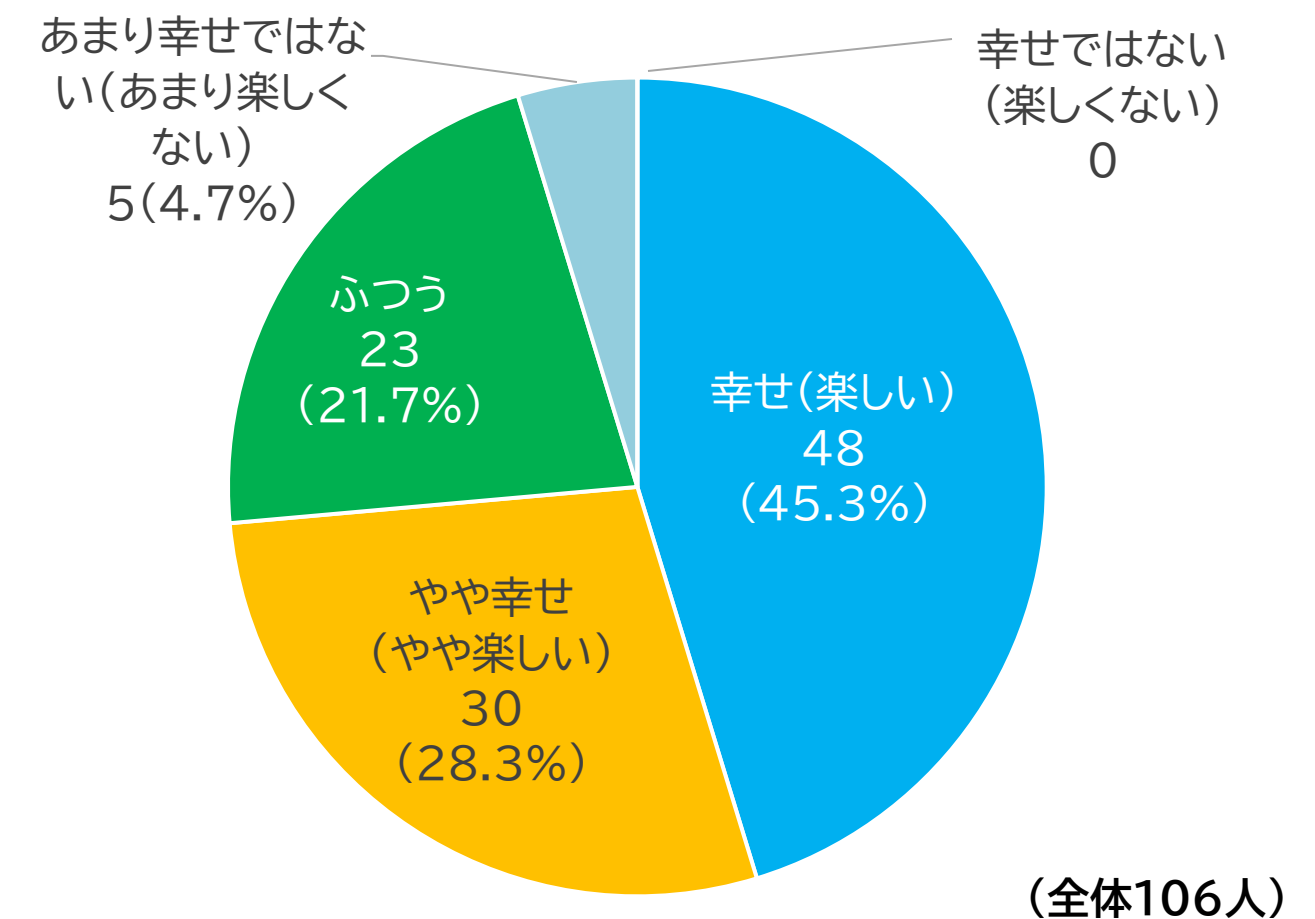
3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて

問1 毎日の生活をどんなふうに思っていますか。

・毎日の生活について、「幸せ(楽しい)」と思っている人は48人(45.3%)、「やや幸せ(やや楽しい)」と思っている人は30人(28.3%)となっています。

・「あまり幸せではない(あまり楽しくない)」と思っている人は5人(4.7%)、「ふつう」は23人(21.7%)でした。



3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて

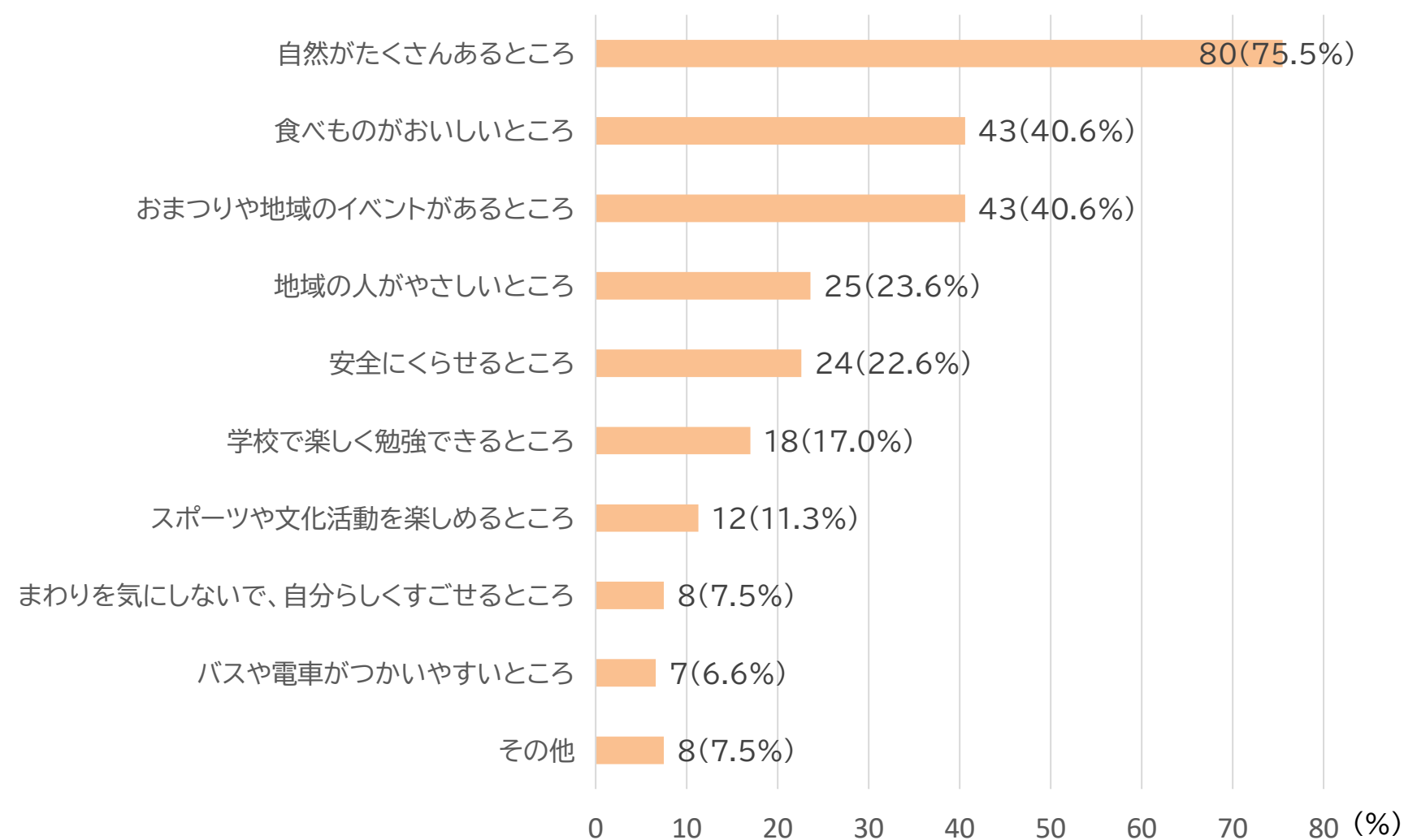


問2 「岩手県のいいところ」だと思うのはどれですか。 (3つまで選んでください)

・岩手県のいいところは、「自然がたくさんあるところ」が80人(75.5%)と最も多くなっています。

・ついで、「食べ物おいしいところ」、「おまつりや地域のイベントがあるところ」がそれぞれ43人(40.6%)となっています。

・「その他」では、『世界遺産登録や景勝地と名前がついている場所が多い』『釣りができるところがたくさんある』などの回答がありました。



(全体106人)



3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて

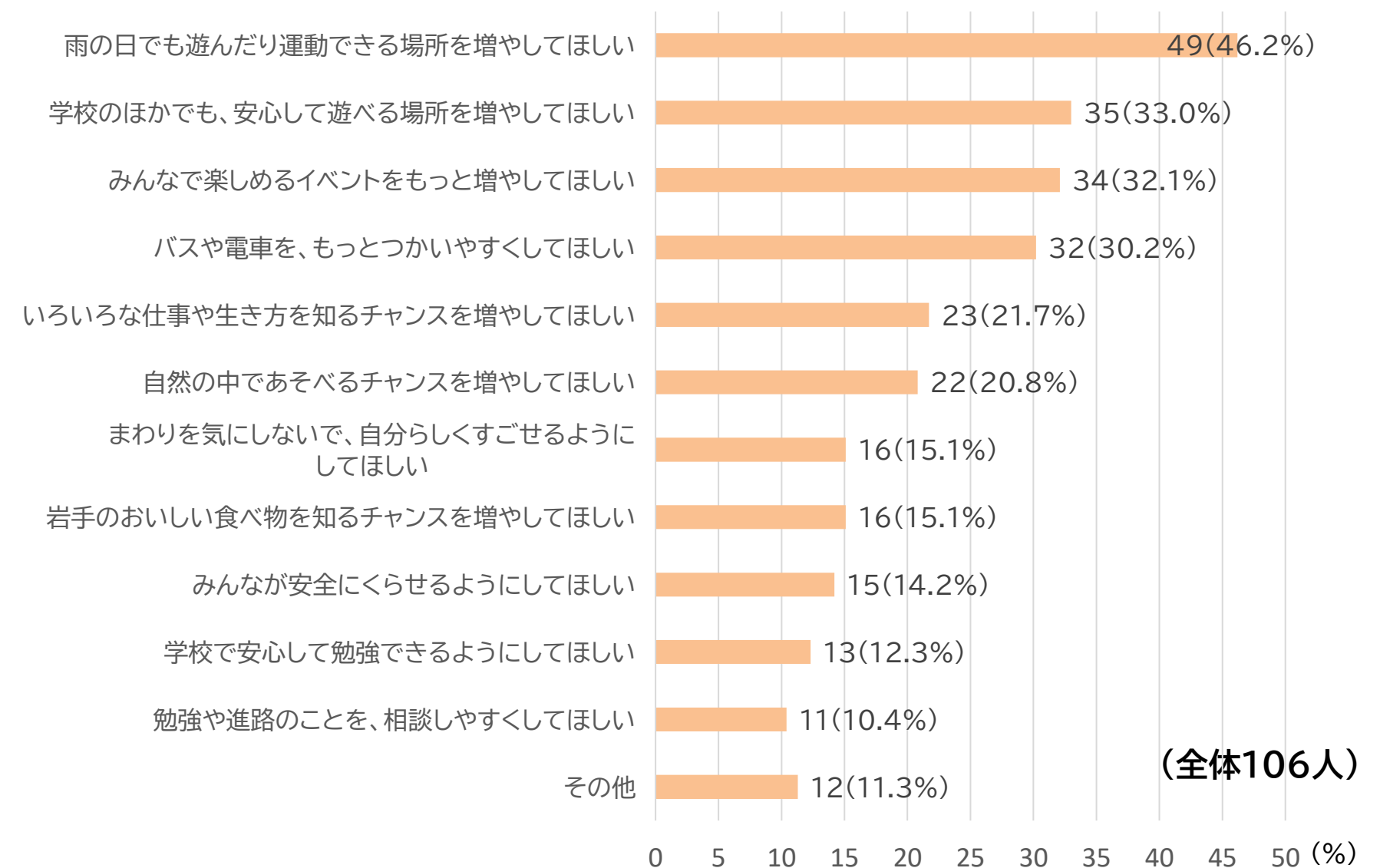


問3 「岩手県がもっとこんなふうになったらいいな」と思うものはどれですか。（3つまで選んでください）

・岩手県がこんなふうになったらいいと思うものは、「雨の日でも遊んだり運動できる場所を増やしてほしい」が49人(46.2%)と最も多くなっています。

・ついで、「学校のほかでも、安心して遊べる場所を増やしてほしい」が35人(33.0%)、「みんなで楽しめるイベントをもっと増やしてほしい」が34人(32.1%)となっています。

・「その他」では、『学習施設を増やしてほしい』、『通信環境をもう少し整備してほしい』、『遊べる施設を作ってほしい』などという回答がありました。



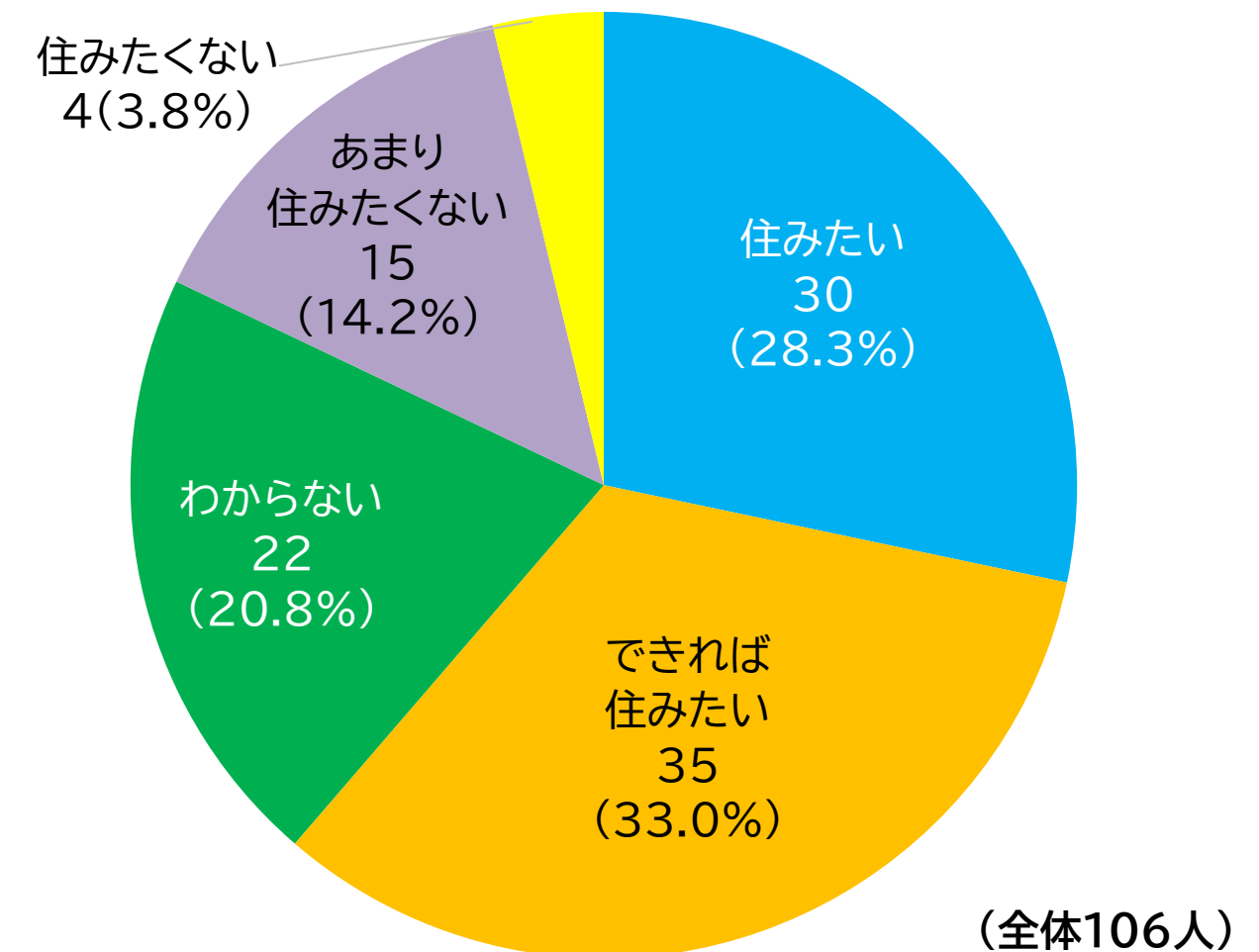
3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて



問4 大人になっても岩手県に住みたいと思いますか。

- ・大人になっても岩手県に「住みたい」、「できれば住みたい」と答えた人は65人(61.3%)となっています。
- ・「住みたくない」「あまり住みたくない」が19人(17.9%)でした。
- ・「わからない」という回答が22人(20.8%)ありました。



3 調査結果

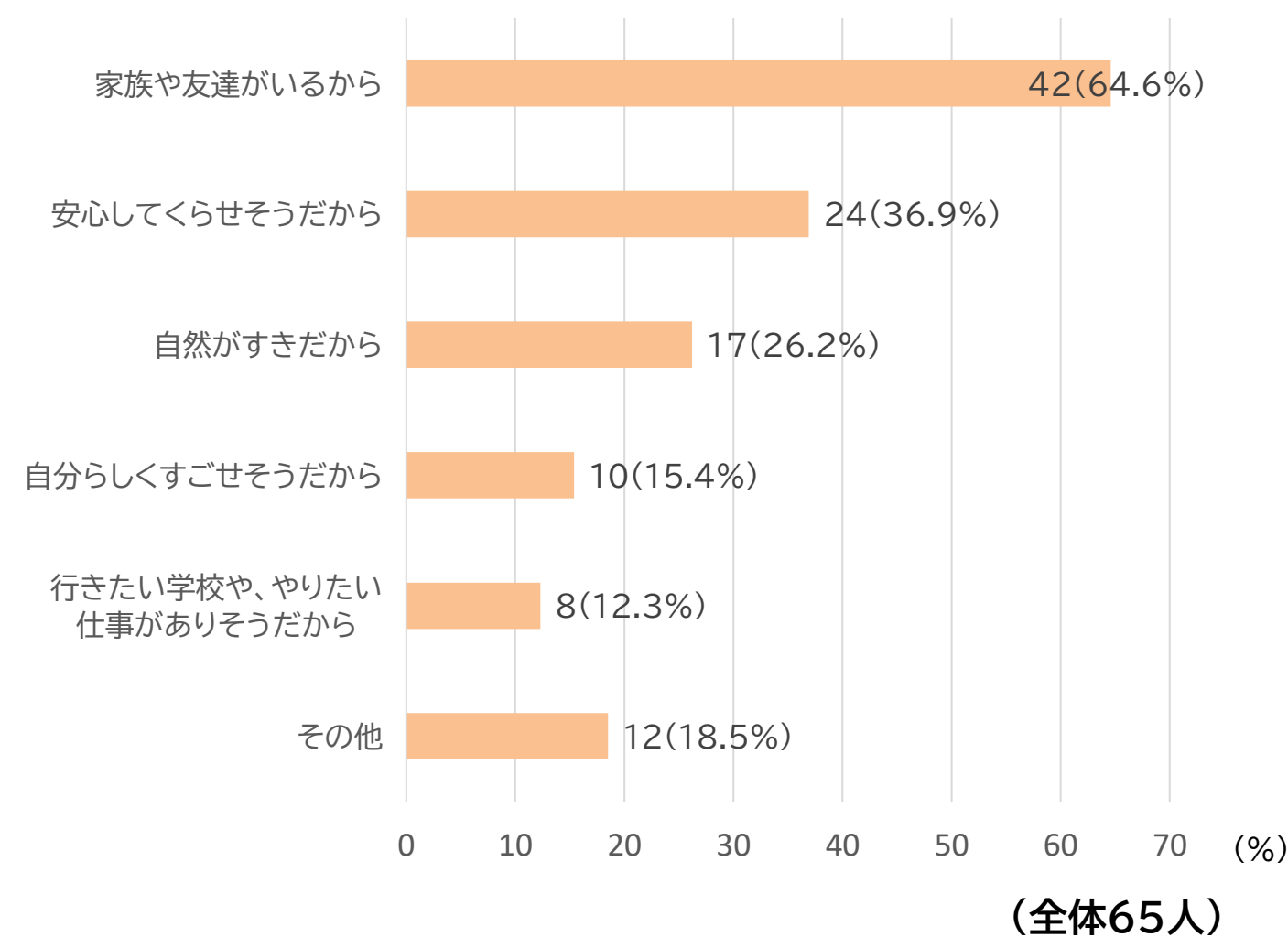
テーマ1：岩手で生活して感じることにについて

問4-1 「住みたい」「できたら住みたい」と答えた人に聞きます。
どうしてそう思うか近いものを2つまで選んでください。

・住みたい、できたら住みたいと答えた理由は、「家族や友達がいるから」が42人(64.6%)と最も多くなっています。

・ついで、「安心してくらせそうだから」が24人(36.9%)となっています。

・「その他」では、『岩手が好きだから』、『^な住み慣れた町だから』、『^{きょうどげいのう}郷土芸能が好きだから』などという回答がありました。



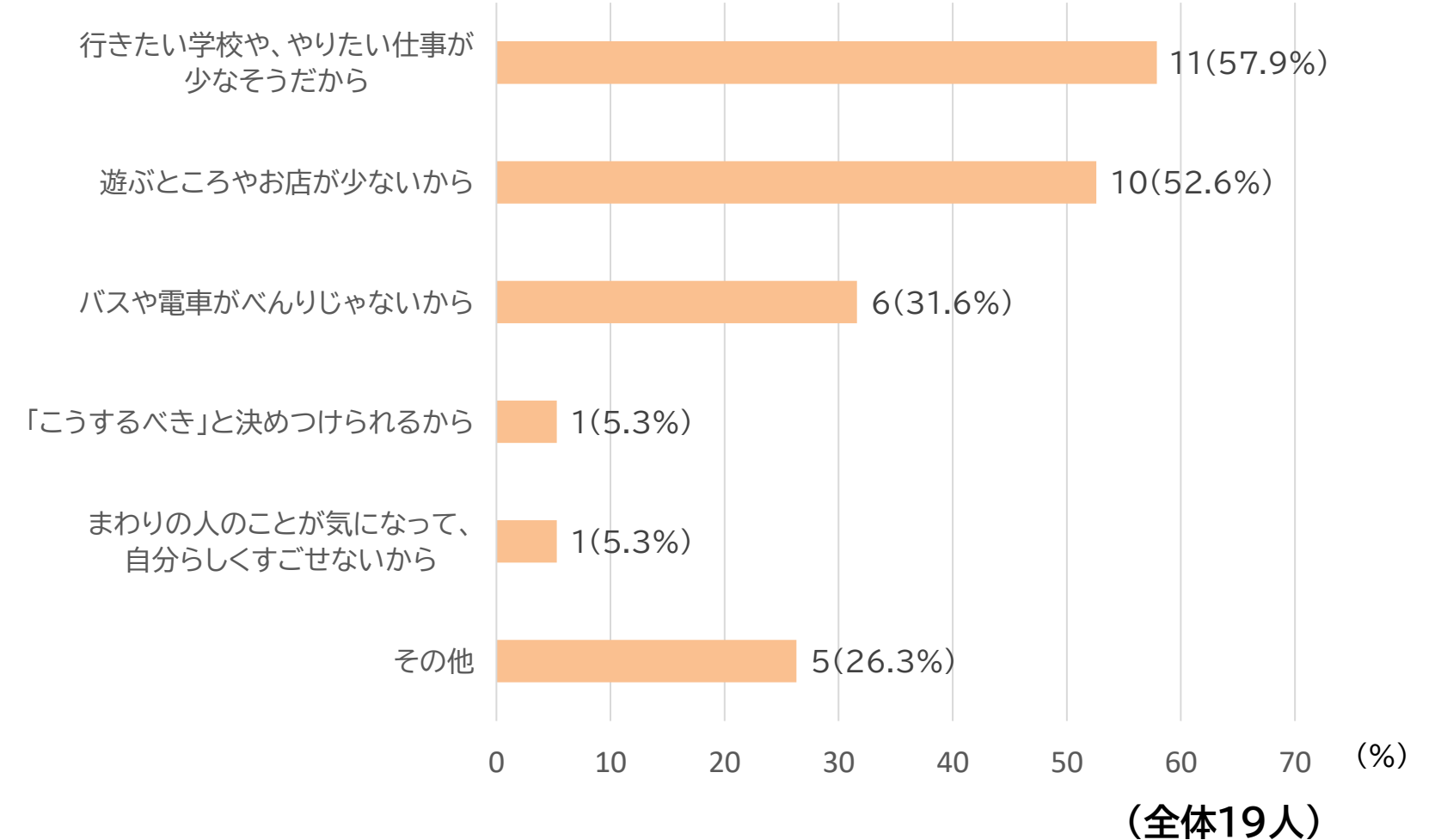
3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて



問4-2 「住みたくない」「あまり住みたくない」と答えた人に聞きます。どうしてそう思うか近いものを2つまで選んでください。

- ・ 住みたくない、あまり住みたくないと答えた理由は、「行きたい学校や、やりたい仕事が少なそうだから」が11人(57.9%)と最も多くなっています。
- ・ ついで「遊ぶところやお店が少ないから」が10人(52.6%)となっています。
- ・ 「その他」では、『今まで岩手県で育ってきたから、他の県でも生活してみたいから』などという回答がありました。



3 調査結果

テーマ1：岩手で生活して感じることにについて

問5 その他（毎日の生活の中で思うことを自由に書いてください。）

- 最も多くみられたのは、「遊べる^{ばしょ}場所が少ない」という意見でした。
 - ・雨や雪とか暑い日に遊べる施設^{しせつ}がないです。室内で遊べる場所が欲しいです。
 - ・公園が少なく、あったとしても遊具が少ないので、増やした方がいいかなと思います。
 - ・「子供食堂兼学童^{しょうどうけんがくどう}」のような、食事もとれて、一日過ごすことができる居場所^{いばしょ}があればいいなと思います。
 - また、「学習できる環境^{かんきょう}」を求める声も多くありました。
 - ・図書館や勉強できる場所がほしい。
 - ・駅や公共施設に自習スペースを整備してほしい。
 - ・放課後^{ほうかご}に勉強できる場所^{ばしょ}がほしい。
- 他^{こうつう}には、交通の不便^{ふべん}さ、安全・安心への不安に関する回答もありました。



3 調査結果

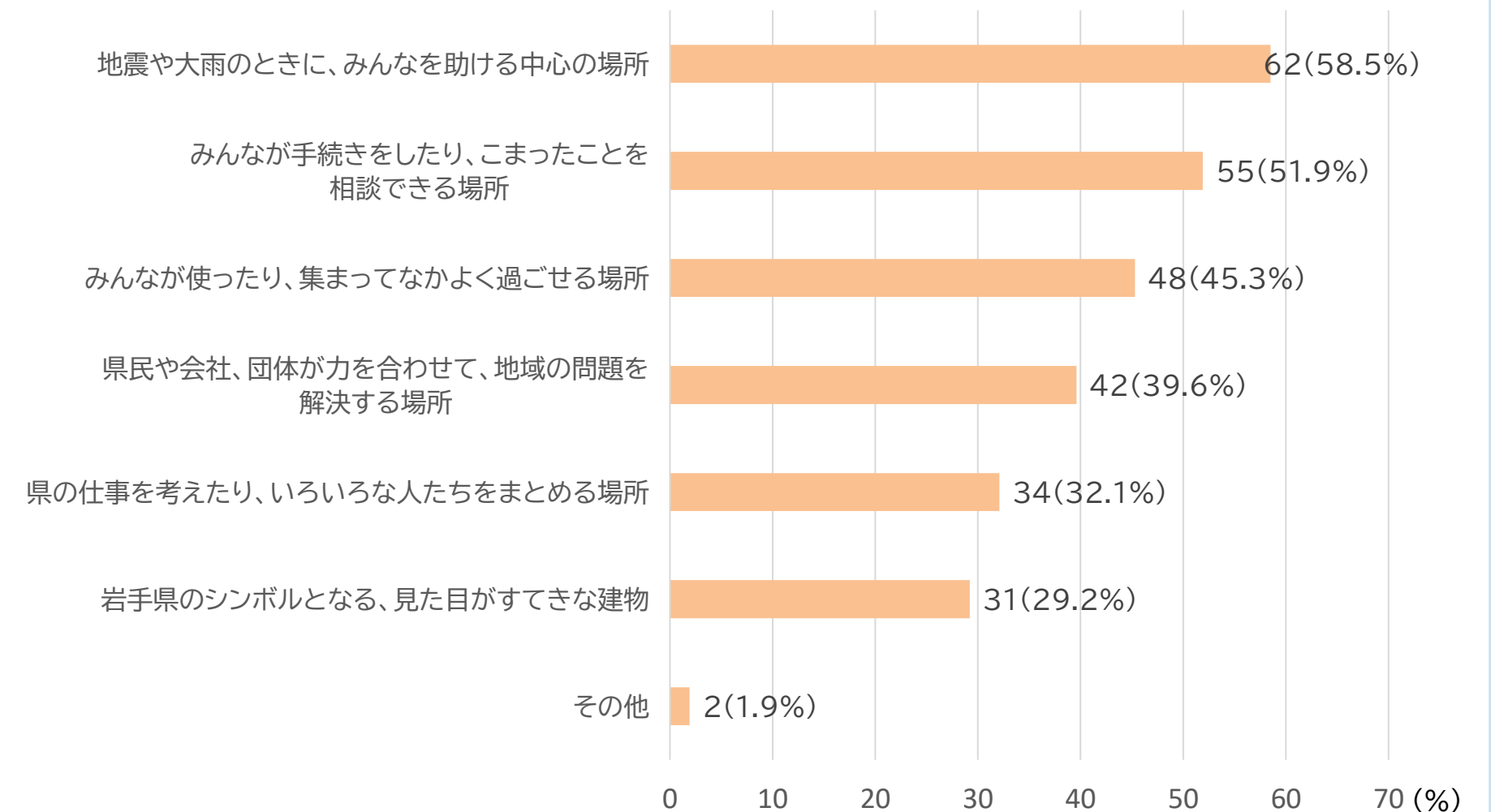
テーマ2：岩手県庁舎の再整備について

問1 新しい県庁は、どんな場所になってほしいですか。 (3つまで選んでください)

・新しい県庁は、「地震や大雨のときに、みんなを助ける中心の場所」になってほしいが、62人(58.5%)と最も多くなっています。

・ついで、「みんなが手続きをしたり、こまったことを相談できる場所」が55人(51.9%)となっていました。

・「その他」では、『働きやすい環境になってほしい』、『過疎地域や人口が少ない地域に対する防災対策や福祉・教育に対する様々な対策をしてほしい』という回答がありました。



(全体106人)



3 調査結果

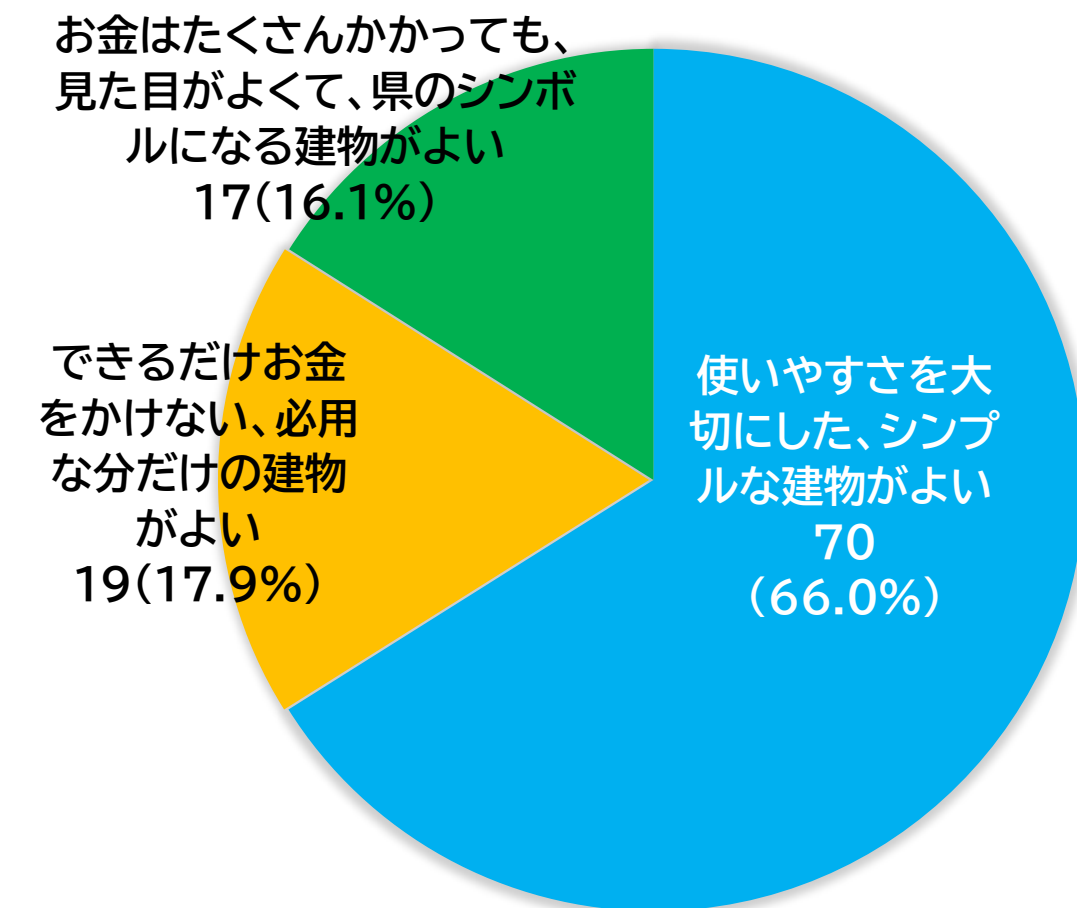
テーマ2：岩手県庁舎の再整備について



問2 新しい県庁をつくるとき、あなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

・新しい県庁をつくるときは、「使いやすさを大切に^{たてもの}したシンプルな建物がよい」が最も多く、70人(66.0%)となっています。

・ついで、「できるだけお金をかけない、必要な分だけの^{たてもの}建物がよい」が19人(17.9%)、「お金はたくさんかかっても、見た目がよくて、県のシンボルになる^{たてもの}建物がよい」が17人(16.1%)となっていました。



(全体106人)



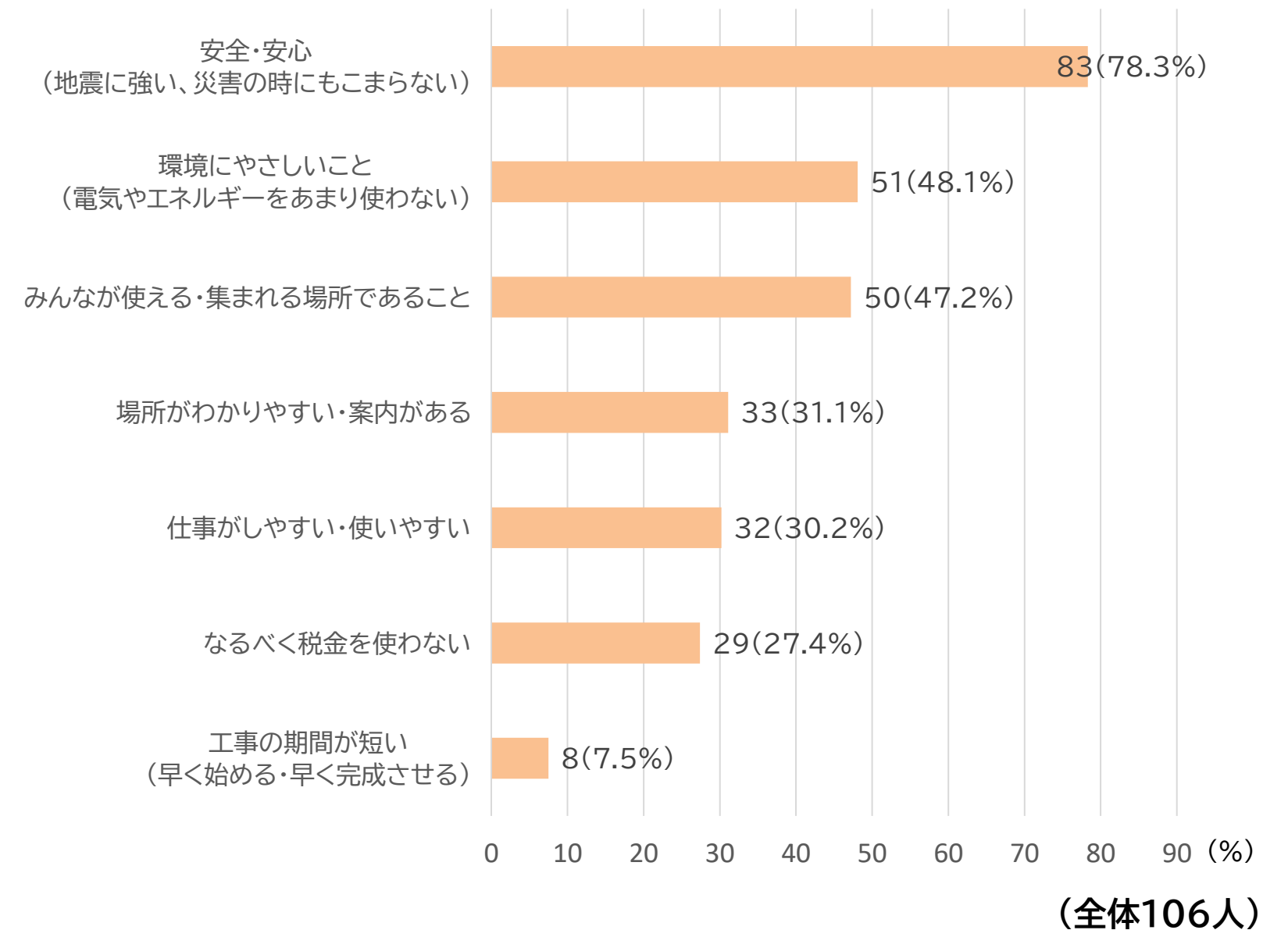
3 調査結果

テーマ2：岩手県庁舎の再整備について

問3 新しい県庁をつくるとき、特に大事だと思うものを、3つまで選んでください。

・新しい県庁をつくるときは、「安全・安心」が大事だと思う人が83人(78.3%)と最も多くなっています。

・ついで、「環境にやさしいこと」が51人(48.1%)、「みんなが使える・集まれる場所であること」が50人(47.2%)となっていました。



3 調査結果

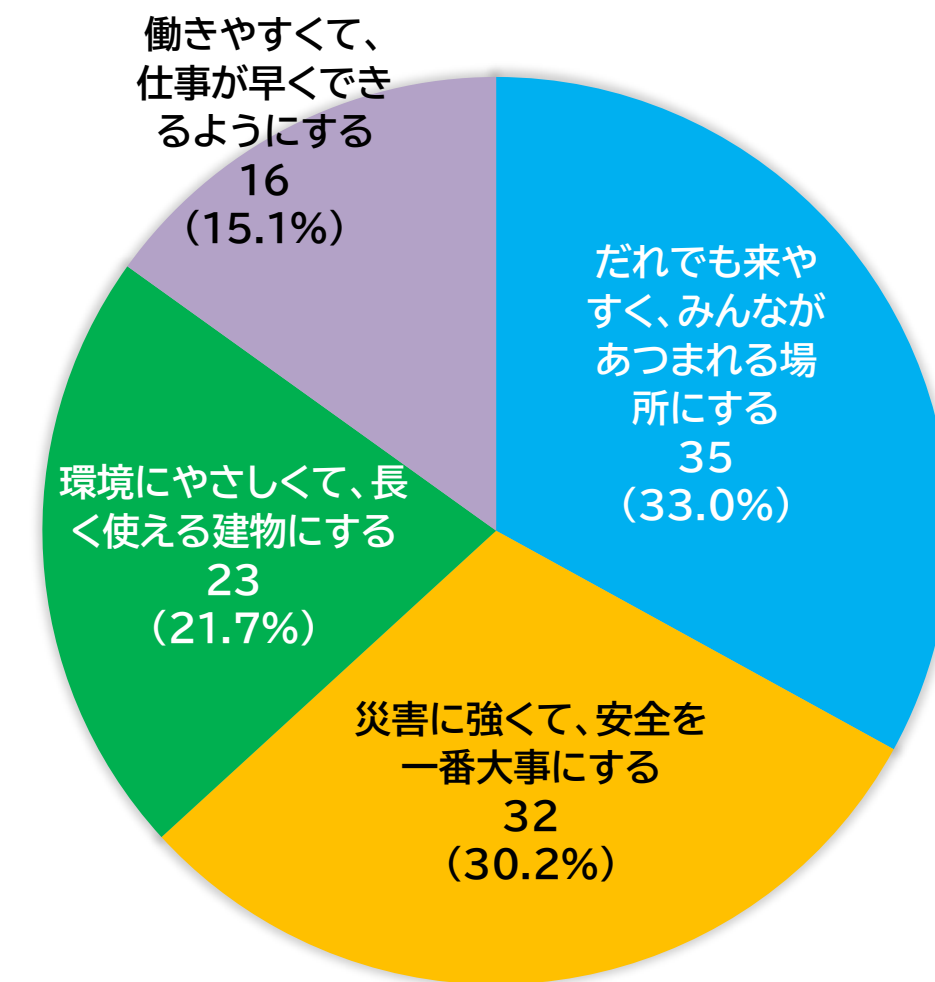
テーマ2：岩手県庁舎の再整備について



問4 これからの県庁は、どんなことを一番大事にしたらいと思いますか。

・これからの県庁は、「だれでも来やすく、みんなが集まれる場所にする」ことを大事だと考えている人が35人(33.0%)と最も多くなっています。

・ついで、「災害に強くて、安全を一番大事にする」が32人(30.2%)となっていました。



(全体106人)

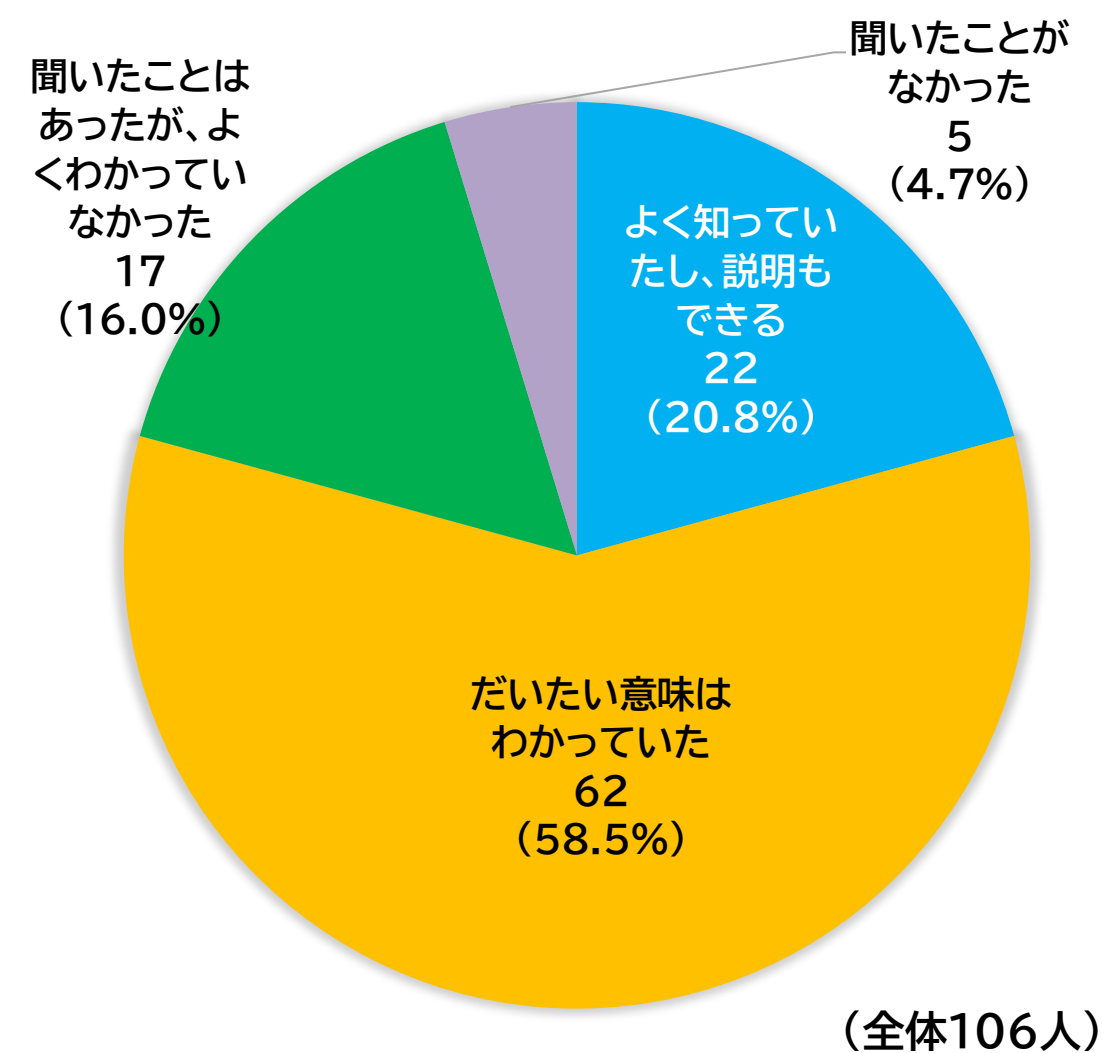
3 調査結果

テーマ3：こどものトラウマ（心の傷）への支援 充実に向けた取り組みについて

問1 あなたは「トラウマ（心の大きな傷）について、これまでどのくらい知っていましたか。

・トラウマについて、「良く知っていたし、説明もできる」が22人(20.8%)、「だいたい意味はわかっていた」が62人(58.5%)と、約8割が知っていたと回答しています。

・「聞いたことはあったが、よくわかっていなかった」が17人(16.0%)となっていました。



3 調査結果

テーマ3：こどものトラウマ（心の傷）への支援 充実に向けた取り組みについて

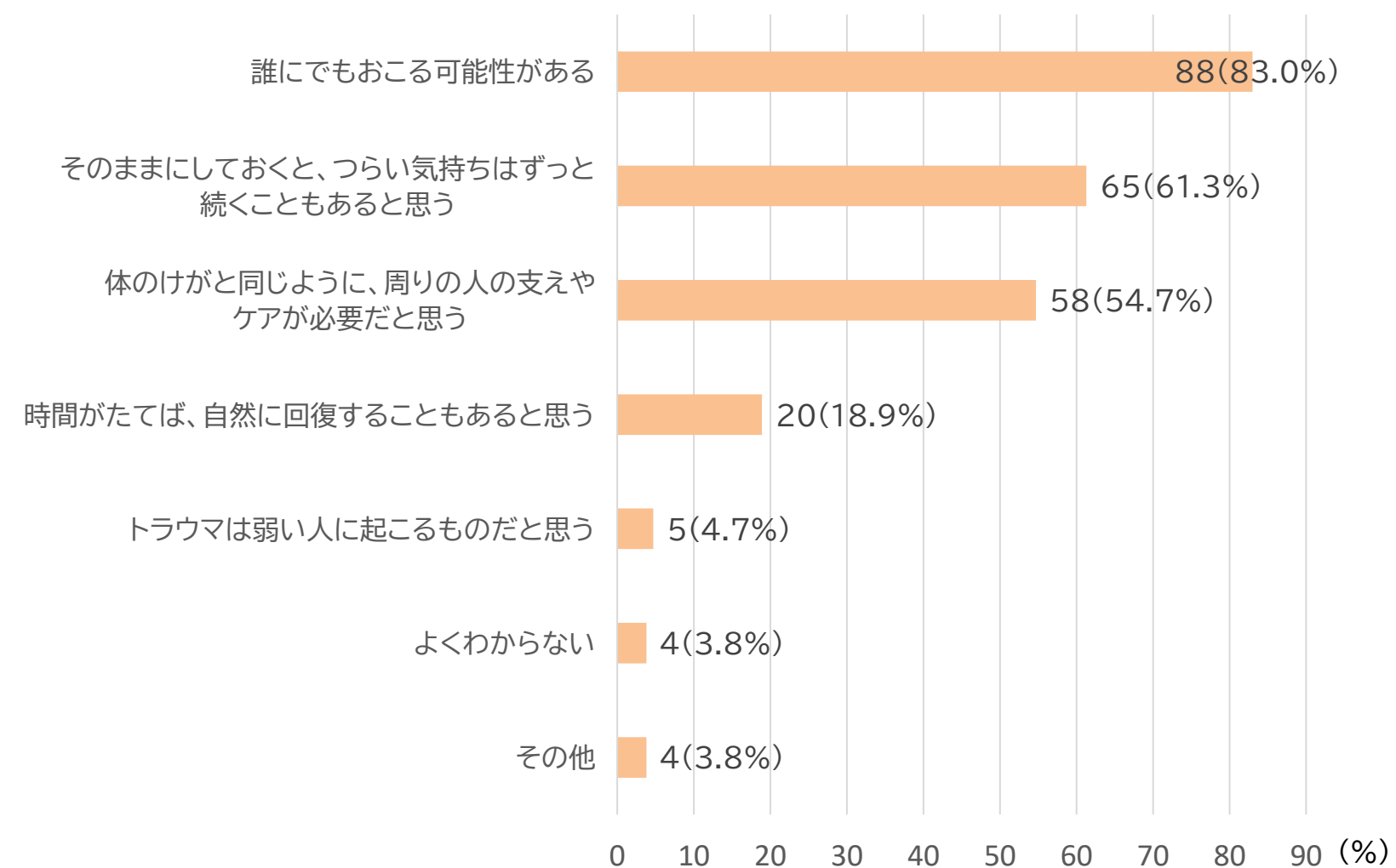


問2 ト라우マについて、あなたの考えに当てはまるものを全て 選んでください。

・トラウマとは、「誰にでもおこる可能性がある」と考える
人が88人(83.0%)と最も多くなっています。

・ついで、「そのままにしておくと、つらい気持ちはずっと
つづくこともあると思う」が65人(61.3%)となってい
ました。

・「その他」では、『永遠に心に残る怖いもの』、『荒療治
では治らない場合が多い。時間をかけて治していくべ
き。』、『一生付き合っていかなければならないと思う』な
どという回答がありました。



(全体106人)

3 調査結果

テーマ3：こどものトラウマ（心の傷）への支援 充実に向けた取り組みについて

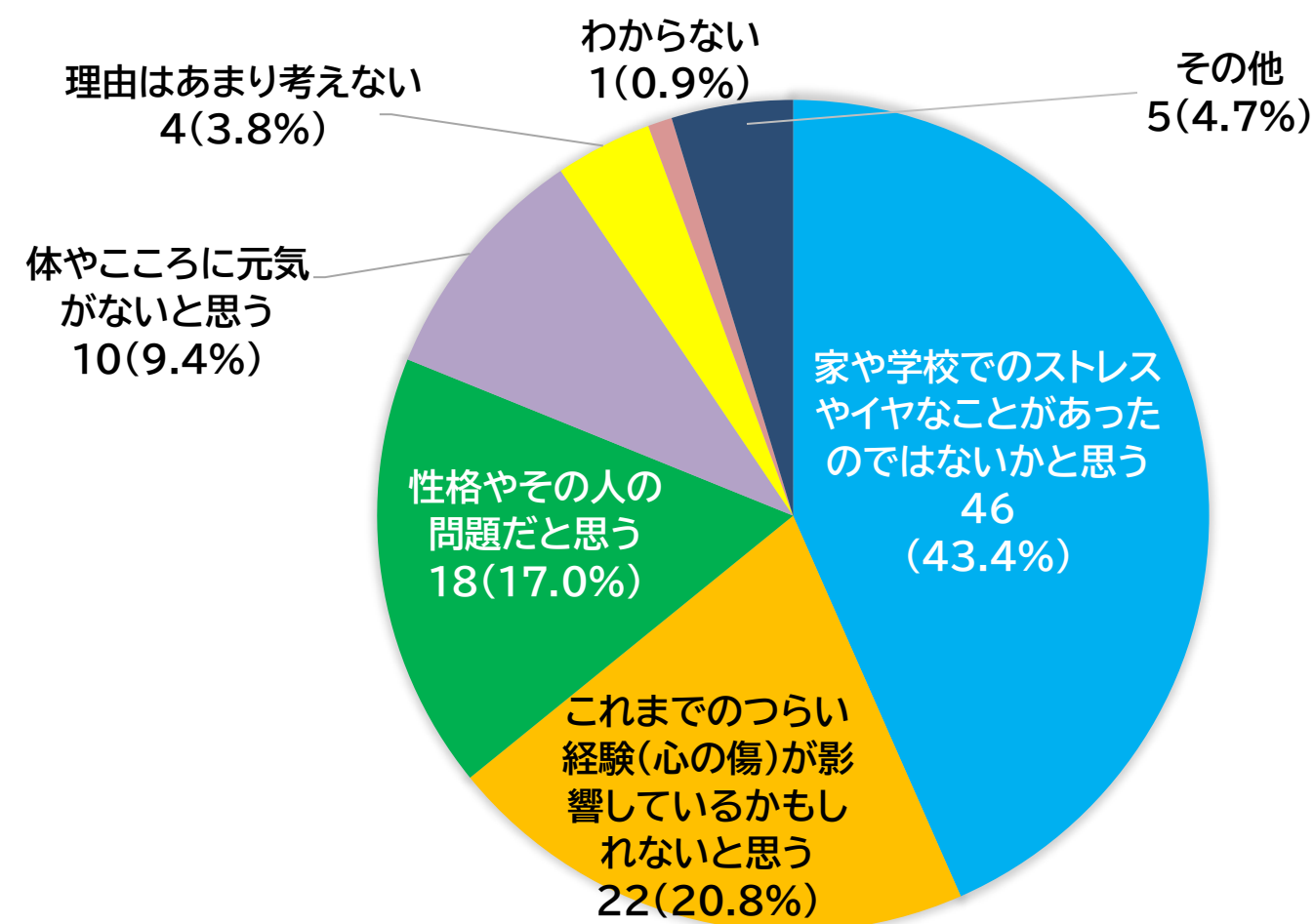


問3 あなたのまわりで、突然怒り出したり、急にひどく落ち込んだりする友だちがいたときどんなことが考えられると思いますか。

・突然怒り出したり、ひどく落ち込んだりする友だちがいたとき、「家や学校でのストレスやイヤなことがあったのではないかと思う」と考える人が46人(43.4%)と最も多くなっています。

・ついで、「これまでのつらい経験が影響しているのかもしれないと思う」が22人(20.8%)となっていました。

・「その他」では、『周りが原因のストレスや問題、心の傷のことについて、自分を責めているのではないかと思う』、『情緒不安定だと思う』などという回答がありました。



(全体106人)

3 調査結果

テーマ3：こどものトラウマ（心の傷^{きず}）への支援^{しえん} 充実^{じゅうじつ}に向けた取り組みについて

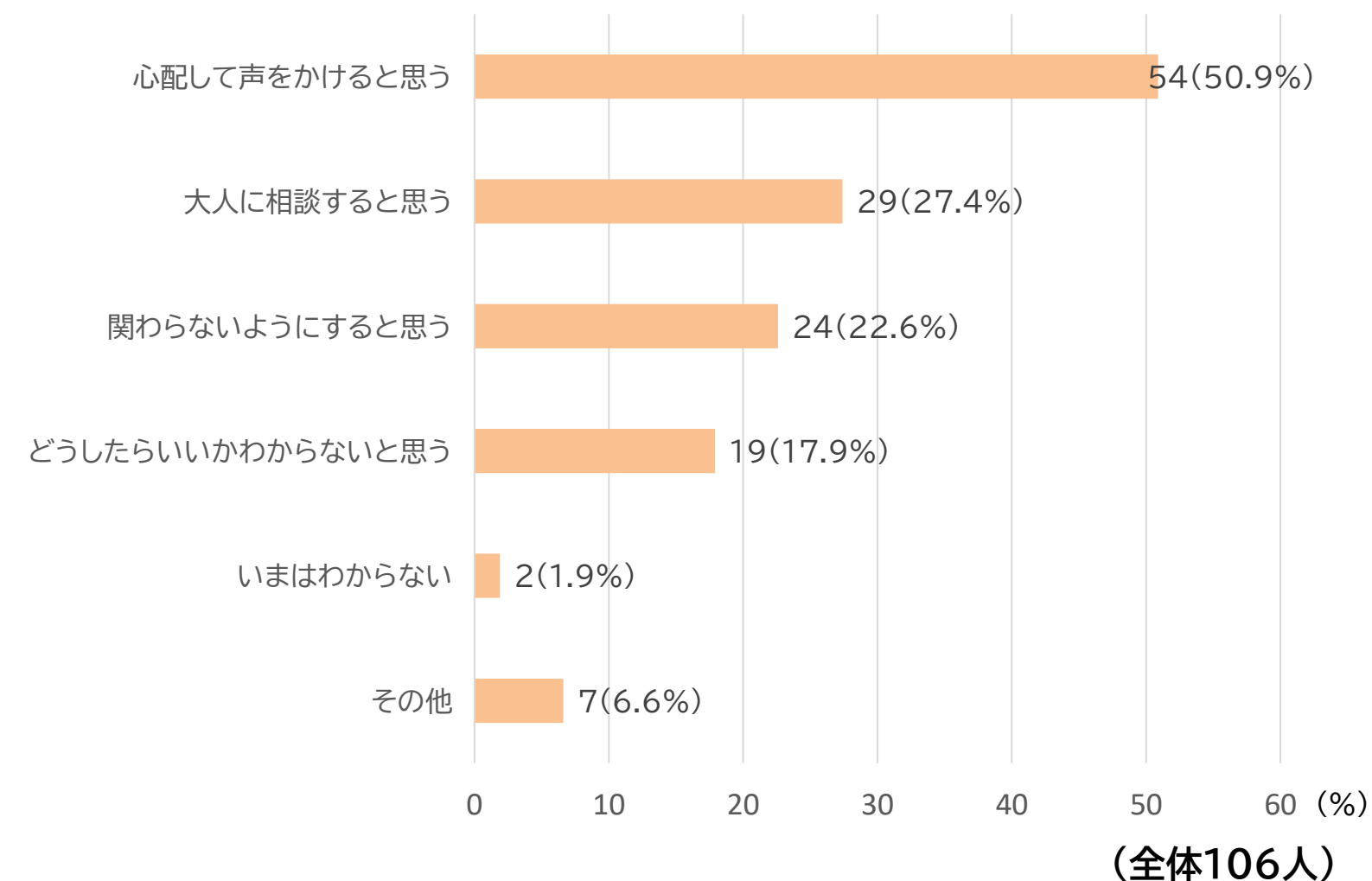


問4 急に怒り出したり、ひどく落ち込んだりする友だちがいたとき あなたはどうしますか。（いくつでも選んでください）

・急に怒り出したり、落ち込んだりする友だちがいたとき、
「心配して声をかけると思う」が54人(50.9%)と最も多
くなっています。

・ついで、「大人に相談^{そうだん}すると思う」29人(27.4%)、「関
わらないようにすると思う」が24人(22.6%)となってい
ました。

・「その他」では、『まずは状況確認。自分の行動によって悪
化^かさせたら相手も自分もいい気がしないから』、『自らは声
は掛けず、相手から相談^かなどがあった場合のみ対応する』
などという回答がありました。



3 調査結果

テーマ3：こどものトラウマ（心の傷）への支援 充実に向けた取り組みについて

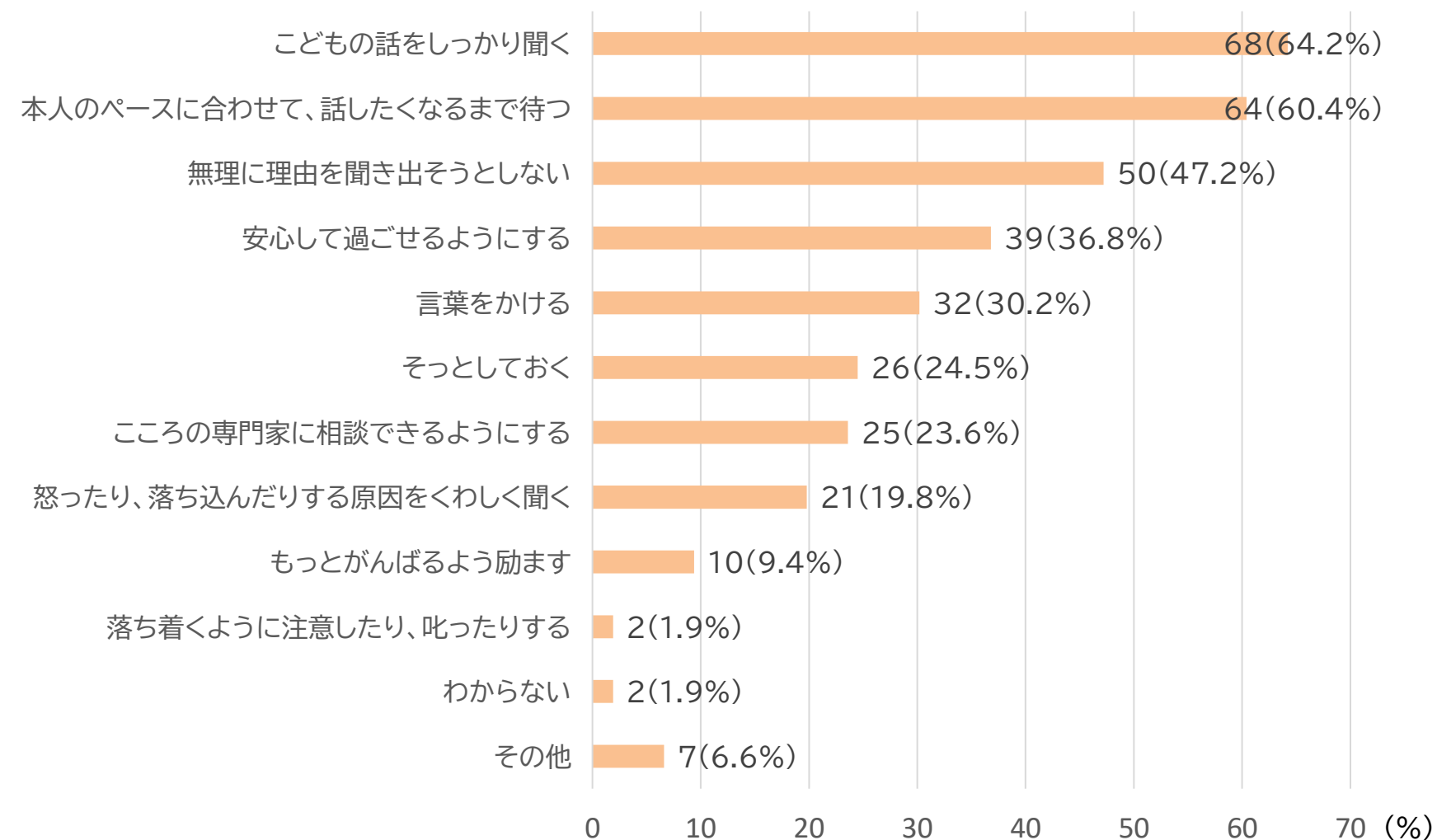


問5 急に怒り出したり、落ち込んだりすることに対して、大人はどのように接するのがよいと思いますか。（いくつでも選んでください）

・急に怒り出したり、落ち込んだりすることに対しては、「話をしっかり聞く」のがよいと考える人が68人(64.2%)と最も多くなっています。

・ついで、「本人のペースに合わせて、話したくなるまで待つ」が64人(60.4%)となっていました。

・「その他」では、『ちゃんと向き合う』、『本人以外からも状況を^{かくにん}確認する』という回答がありました。

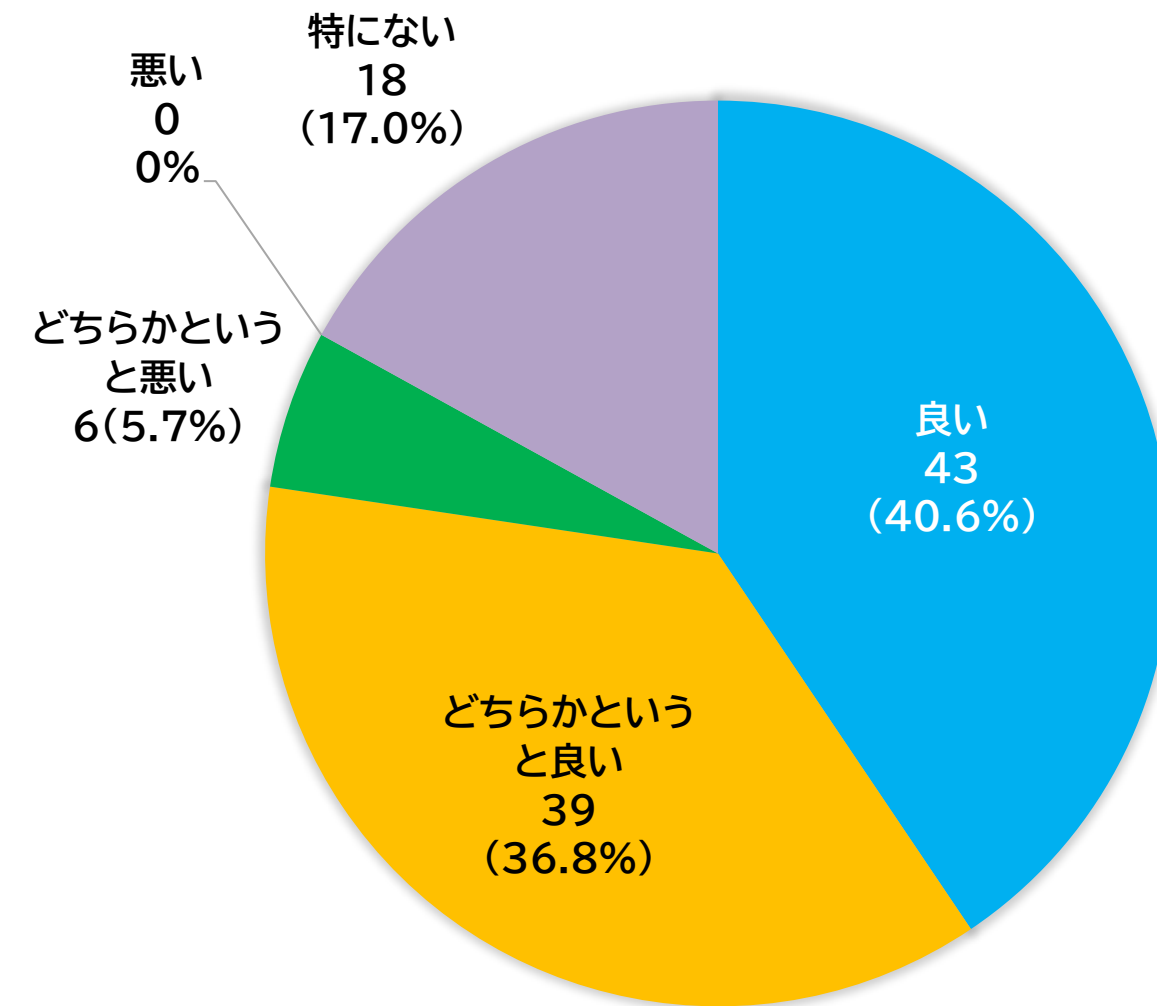


3 調査結果

テーマ4：「建設のしごと」について

問1 あなたは「建設のしごと」について、どんなイメージを持っていますか。

- ・建設のしごとについて、「良い」が43人(40.6%)、「どちらかというが良い」が39人(36.8%)と約75%の人が良いイメージを持っていることがわかりました。
- ・建設のしごとのイメージが「特にない」という人が18人(17.0%)となっていました。



(全体106人)

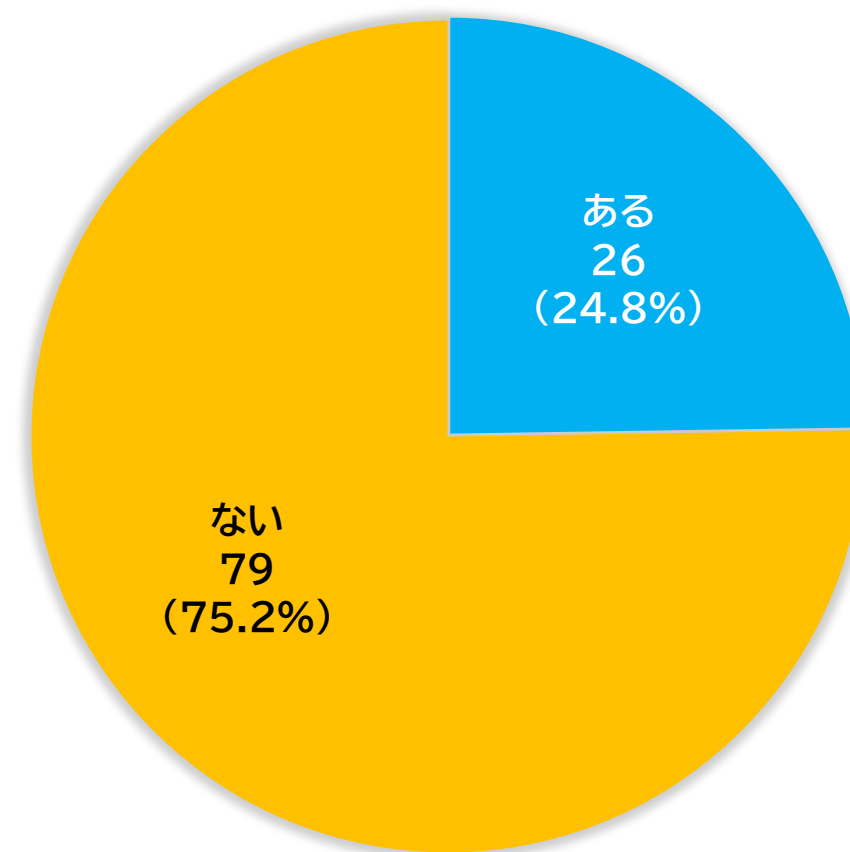


3 調査結果

テーマ 4：「建設のしごと」について

問2 これまでに「建設のしごと」をやってみたいと思ったことはありますか。

- ・「建設のしごと」を約25%の人がやってみたいと思ったことがあると回答しています。
- ・約75%の人は、やってみたいと思ったことはないと回答していました。



(全体105人)

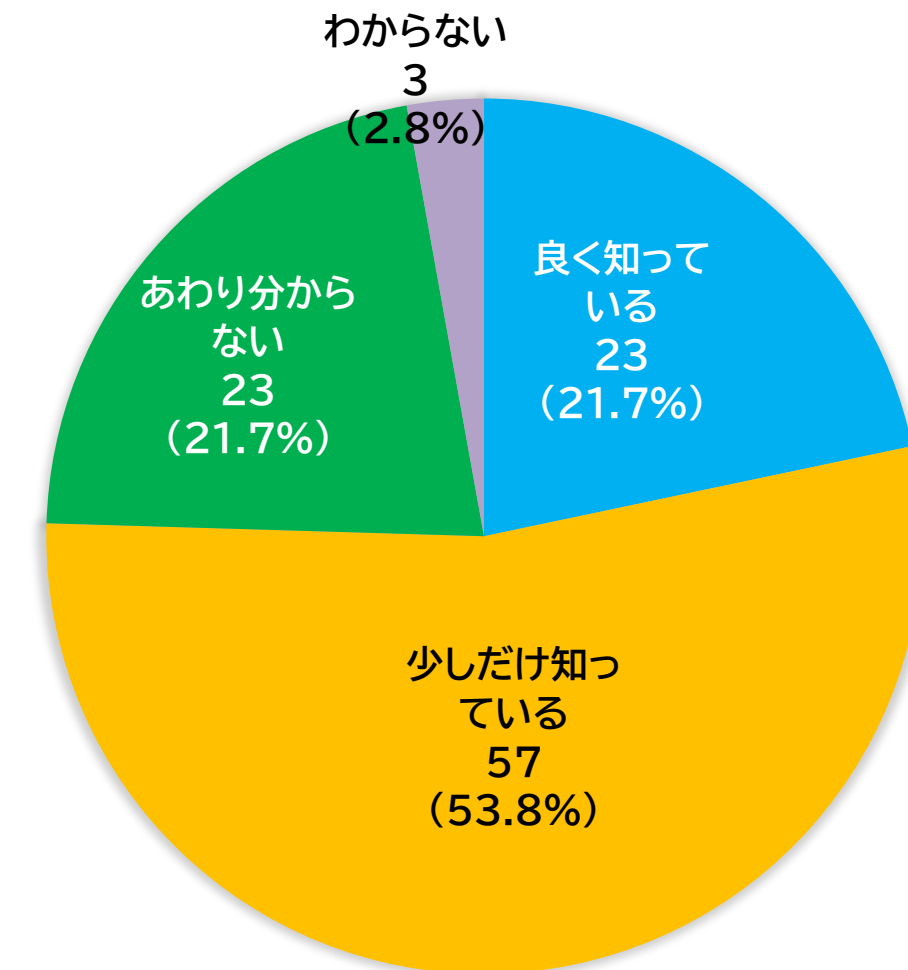


3 調査結果

テーマ 4：「^{けん}^{せつ}建設のしごと」について

問3 「建設のしごと」の内容について知っていますか。

- ・建設のしごとを「よく知っている」が23人(21.7%)、「少しだけ知っている」が57人(53.8%)と、約75%の人が知っていると回答しています。
- ・「あまり分からない」が23人(21.7%)、「わからない」が3人(2.8%)となっていました。



(全体106人)



3 調査結果

テーマ 4：「^{けん せつ}建設のしごと」について

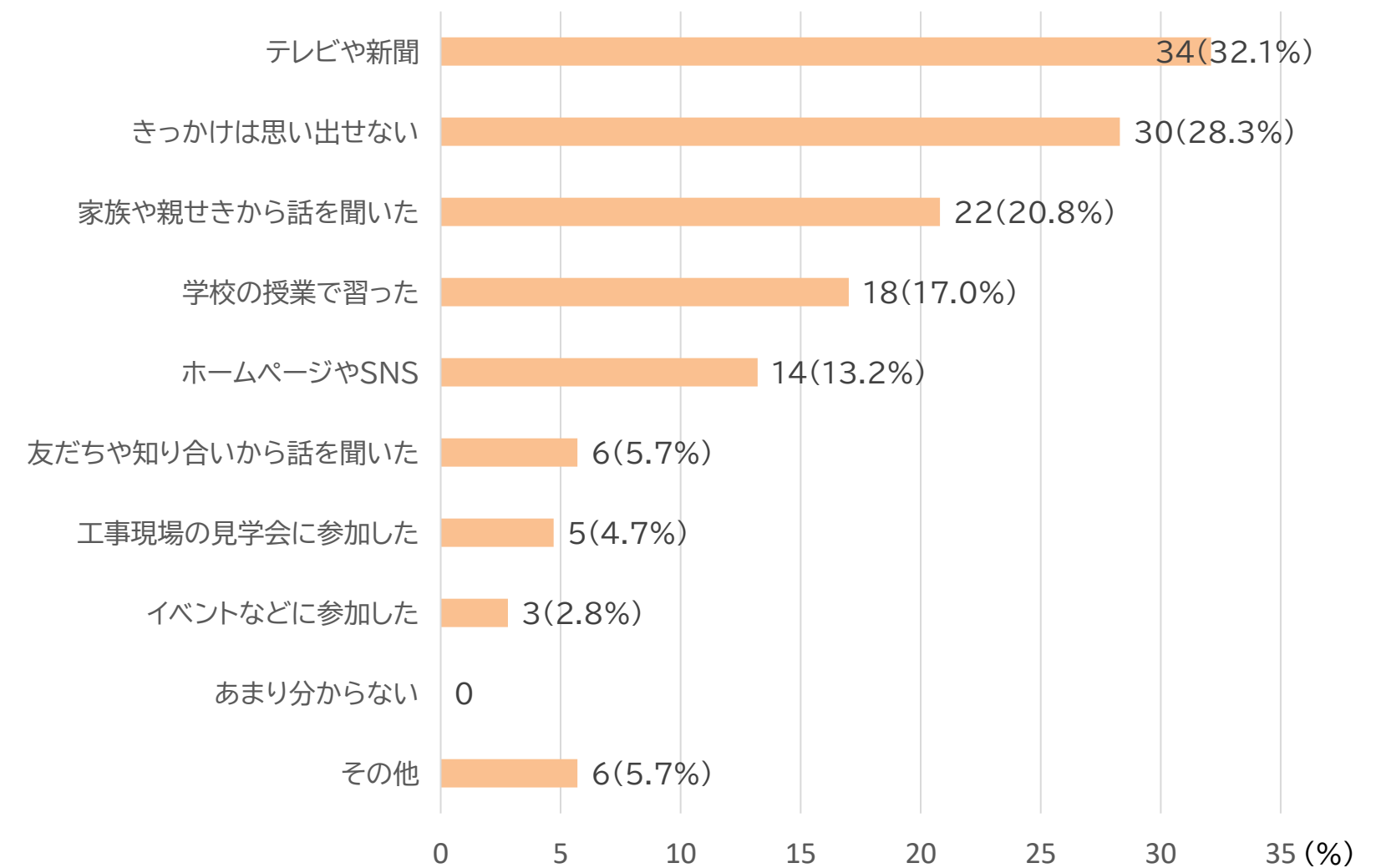


問4 「建設のしごと」やその良いところを知ったきっかけは何ですか。

・建設のしごとやその良いところを知ったきっかけは、「テレビや新聞」と回答した人が34人(32.1%)と最も多くなっています。

・ついで「きっかけは思い出せない」が30人(28.3%)となっていました。

・「その他」には、『身近に大工さんがいるから』、『小学校で建設会社が来て勉強した』などという回答がありました。



(全体106人)

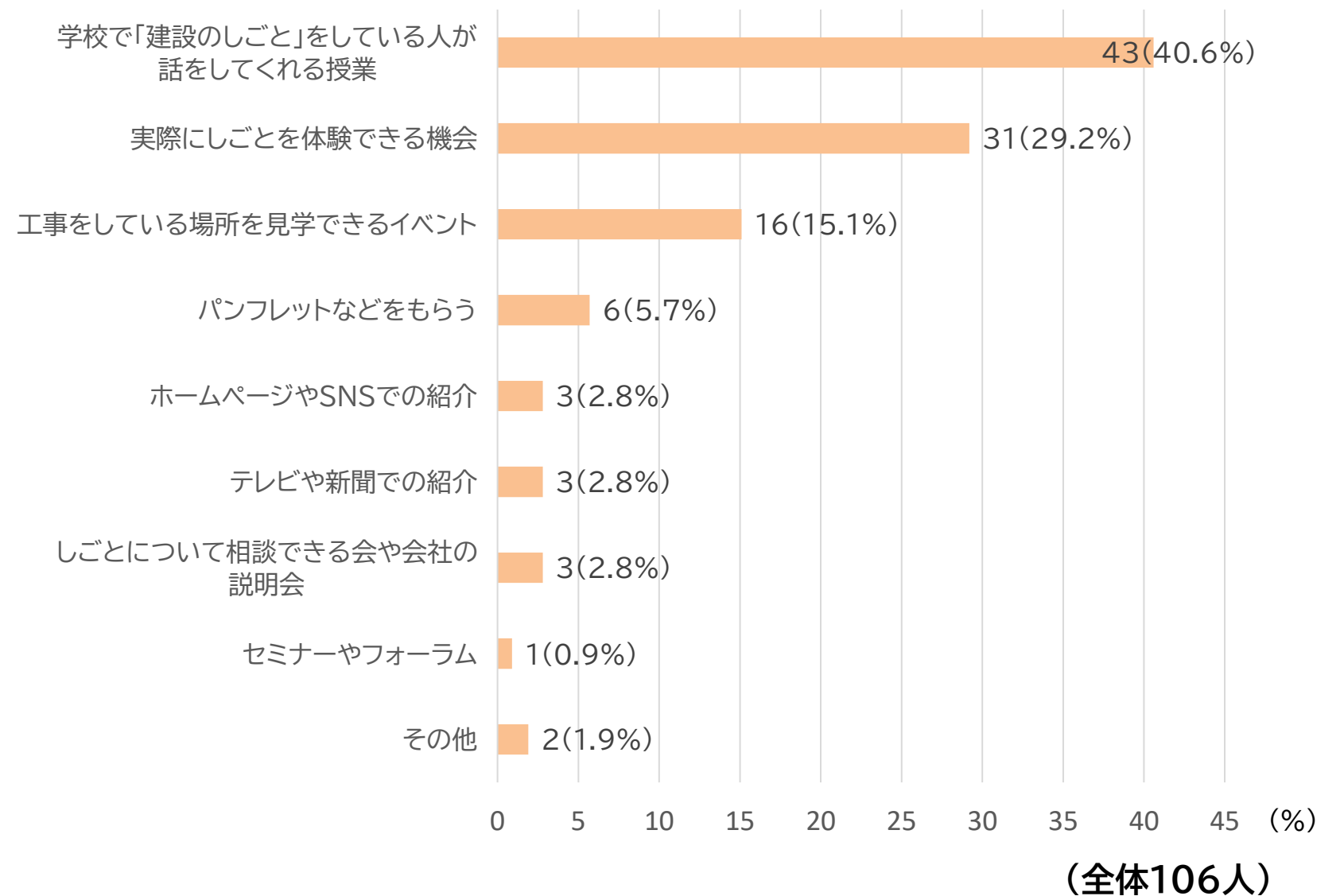
3 調査結果

テーマ 4：「^{けん}^{せつ}建設のしごと」について



問5 「建設のしごと」を知るためには、どんな機会があると良いと思いますか。

- ・建設のしごとを知るためには、「学校で「建設のしごと」をしている人が話をしてくれる授業」が43人（40.6%）と最も多くなっています。
- ・ついで、「実際にしごとを体験できる機会」が31人（29.2%）となっていました。
- ・「その他」には、『ただ仕事を増やしているだけだと思うので、そのような活動はしなくていいと思う』という回答がありました。



担当課



1 岩手^{せいかつ}で生活して感じることにについて

せい さく き かく ぶ せいさく き かく か

政策企画部政策企画課

ちょうしゃ さい せい び

2 岩手県庁舎の再整備について

そう む ぶ かんざいか

総務部管財課

3 こどものトラウマ（心の傷^{きず}）への支援^{しえん}充実^{じゅうじつ}に向けた取り組みについて

ほ けん ふくし ぶ

こそだ

しえんしつ

保健福祉部子ども子育て支援室

けんせつ

4 建設のしごとについて

けん ど せい び ぶ けん せつ ぎ じゅつしん こう か

県土整備部建設技術振興課

